

臨床・実用先進リハビリテーションカンファランス（CIRC & PIRRC）開催にあたって

藤田保健衛生大学リハビリテーション部門（藤田リハ）の年次研究発表の場としてFRRC（藤田リハビリテーション部門リサーチカンファランス：Fujita Rehabilitation Research Conference）が10年前の2006年12月にスタートしました。その後、関連病院とのより一層の交流を図るため、関連病院メンバーの発表を主体とするFRCRC（藤田リハビリテーション関連施設臨床研究会 Fujita Rehabilitation Clinical Research Conference）を開始しました。

そして、2013年から運営のオープン化を図るため、藤田リハと共催する実用先進リハビリテーション研究会を組織し、藤田保健衛生大学リハビリテーション部門の研究を主体とした「実用先進リハビリテーションカンファランス Practical & Innovative Rehabilitation Research Conference（PIRRC）」と研究会会員施設の発表を中心とした「臨床先進リハビリテーションカンファレンス Clinical & Innovative Rehabilitation Conference（CIRC）」の2つの会を開催することにしました。両会とも毎回300名を超える参加者を得て、素晴らしい研究と交流の場となりました。

ただ近年、藤田リハの発展に伴い、国内はもちろん国際的にも多数の研究交流の場が生まれ、藤田リハメンバー及び関連施設メンバーは、極めて多忙な日々を送るようになりました。そのため、両会を年1回の同時開催とすることにしました。本日は、その最初の会となります。

今日1日が、皆様にとって充実した研究発表と議論の機会となりますよう心より願っております。

藤田リハは、今後も関連病院の皆様と共に発展していきます。何卒、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2016年10月

藤田保健衛生大学リハビリテーション部門代表 才藤 栄一

プログラム・目次

	ページ
10:00-10:05 開会の辞	
藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座	才藤栄一

10:05-12:45 臨床先進リハビリテーションカンファランス（発表7分，質疑応答3分）	
当院外来認知症に対する集団リハビリテーションの試み 国立長寿医療研究センター	宇佐見和也 6
長下肢装具使用群における短下肢装具への移行可否予測 宇野病院	林 冬悟 8
義肢装具分野デジタル化の流れとギプス採型の精度評価 東名ブレース株式会社	奥野雅大 10
熱傷患者への理学療法の取り組み 中京病院	久保貴嗣 12
バランス練習アシストによる心理的变化とADLへの影響について 鶴飼リハビリテーション病院	池田隼也 14
BEAR練習による足底感覚の変化－SWTを用いた5症例の検討－ 刈谷豊田総合病院	後藤進一郎 16
ToFuture Project－リハビリロボットにおけるデータ活用の取り組み－ トヨタ自動車株式会社	大槻将久 18
高次脳機能障害患者の自動車運転再開後の追跡調査－アンケート結果から－ 三九朗病院	荒川隼介 20
松阪市における地域活動の調査 花の丘病院	畑井弘明 22
療法士からみた介護老人保健施設における終末期リハビリ・ケアの現状と課題 輝山会記念病院	前田太輝 24
対麻痺者用歩行補助ロボットWPAL-G アスカ株式会社	樋口 励 26
当院における超高齢大腿骨近位部骨折術後患者のADL－FIMに着目して－ 足利赤十字病院	酒井大晃 28
大腿骨近位部骨折患者における回復期リハビリ病棟退院後のIADLに関する検討 市立伊勢総合病院	古川和徳 30
歩行時点検出アルゴリズムの検討 キッセイコムテック株式会社	青木健光 32
船橋市立リハビリ病院臨床倫理委員会の取り組み 船橋市立リハビリテーション病院	亀山笑美 34
咀嚼嚥下訓練食品の有用性－口腔機能低下を想定したモデルでの物性変化考察－ 株式会社大塚製薬工場	安部和美 36

-----休憩10分-----

12:55-13:55 ランチョンセミナー

リハビリテーションロボット Overview
藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座 平野 哲 38

-----休憩10分-----

14:05-15:45 実用先進リハビリテーションカンファランス（発表17分，質疑応答3分）

咀嚼嚥下（chew swallow）と一口嚥下（discrete swallow）
藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座 加賀谷 齊 40

三次元トレッドミル歩行分析の展開
藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科 谷川 広樹 42

Full-time integrated treatment（FIT）programとデータ活用
藤田保健衛生大学七栗記念病院 佐々木 祥 44

ELFプロジェクト（Project of Exercise Log in FHUR）練習内容の可視化
藤田保健衛生大学病院 加藤 正樹 46

全てのひとに安心・安全・快適を提供するロボティクススマートホーム
藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科 田辺 茂雄 48

-----休憩10分-----

15:55-16:55 特別講演

「食べる」を再建する その練習の考え方
藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科 稲本 陽子 50

16:55-17:25 特別企画

ICFの臨床応用を始めるために
藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座 向野 雅彦 52

17:25-17:30 閉会の辞

藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科 金田 嘉清

藤田リハビリテーション部門研究project報告

	ページ
藤田保健衛生大学病院・医療科学部リハビリテーション学科	54
藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院	57
藤田保健衛生大学七栗記念病院・藤田記念七栗研究所	60
Tomy project	67
SmarTests project	69
SAM project	70
HOW project & BGrAS project	71
WPAL project	72
ToFuture project	74
COSPIRE project	80
FIT project	82
BIRD project	85
Phi project	87